

りれいと



vol. 56

理念

信頼、安心 すべては、患者さんのために

基本方針

1. 常に医療資源を効率的に利用し、医療の質と経済性の調和をめざす
2. チーム医療に取り組み、安全な医療と快適な療養環境を提供する
3. 地域医師と共助し、住民の健康を支える病院となる

HP <http://www.tatebayashikoseibyoin.jp/>

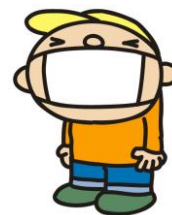
インフルエンザ予防のために知っておきたいこと

わが国ではインフルエンザは、通常初冬から春先にかけて毎年流行します。

典型的な症状は、突然の高熱が 3 日程度続き、その間しばしば頭痛、筋肉痛、腰痛などを伴います。治療は、内服や吸入などがありますが成人と小児とでの違いがあつたりしますので、薬は医師の診断を受けてから使用してください。

熱が下がっても咳が続くこともあり、発症後 2～5 日間はウイルス排泄が認められています。そのため、咳やくしゃみのしぶきを触った手が触れた場所を他の人が触れ、その手で目・鼻・口を触ることで感染することがあります。

インフルエンザにならないことはもちろん、インフルエンザにかかった場合他の人に移さないことも大切です。では、どのように対策を行えばいいのでしょうか。



① マスクを着用する

予防として着用することも有効ですが、インフルエンザにかかった後、自覚症状がなくなっても周囲へのエチケットとしてマスクを着用しましょう。

② 手洗い・うがい(水でも十分効果あり)をする。

手洗い・うがいは帰宅後や食事の前、就寝前、起床後と、こまめに実施することをおすすめします。

③ 身体(粘膜)の湿度を保持する。

目は目薬やメガネ、鼻と口はマスク、こまめな水分補給など、身体の湿度を保つことで予防につながります。

それでも入ってしまったウイルスに対して有効なのが、事前のワクチン接種です。特に重症化しやすい基礎疾患(気管支喘息等の呼吸器疾患、慢性心不全、先天性心疾患等の循環器疾患、糖尿病、腎不全、免疫不全症など)のある方は、インフルエンザが流行する前にワクチン接種をすることで重症化を防ぐことが期待できます。さらに、このような方と同居やお世話をしている方もインフルエンザにかからないように予防が必要です。

ただし、インフルエンザワクチンを受けてもかかることがあるため、重症化予防を主目的とするワクチンであることの認識を持つ必要があります。

インフルエンザの予防に関わらず、健康な体を保つには、なんといっても体力の維持が大切です。規則正しい生活を送り、栄養と睡眠を十分とることを心がけましょう。

看護師日記



今回は当院の救急看護認定看護師、
塚田 千春さんに話を聞きました。



皆さん、こんにちは。私は、館林厚生病院の急患室に勤務しております塚田千春と申します。今年度、救急看護認定看護師の資格を取得し、認定看護師として活動を開始させていただいております。救急患者は時と場所を選ばず発生するため、救急看護はあらゆる場面で行われます。救急看護の対象は、内科的な疾患、外傷、脳血管障害、その他にも多種多様な疾病・外傷を有したあらゆるライフステージの患者さんとそのご家族です。私は救急看護認定看護師として、疾患を抱える患者さんやご家族に対し質の高い看護を提供できるように一年間研修を受けてきました。現在行っている活動は、成人・乳児の BLS(一次救命処置)を院内の職員に向けて年2回開催するなど救急看護の指導を行っています。また、当院は災害拠点病院に指定されているため日本 DMAT 隊を保有していることが必要です。その初期メンバーとして活動しております。DMAT とは災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとって略して DMAT(ディーマツト)とされています。



館林厚生病院 DMAT

私はその一員として国や県の訓練に参加したり、院内の災害訓練を企画運営しております。東日本大震災でも医療救護班として南三陸で活動し、先日の常総での水害でも看護協会から看護師派遣依頼があり参加させて頂いております。今後も地域の皆さんが救急や災害時に困る事の無いよう、実践・指導などに努めてまいりたいと思っています。



訓練参加

第9回館林邑楽医療フォーラム開催決定！！

日 時：平成28年2月6日(土)13:30～

場 所：館林市三の丸芸術ホール

テ ー マ：最愛の人を救うために

特別講演：「～AED を使おう～心臓突然死から救うために皆さんに出来ること、皆さんしか出来ないこと」

講 師：石見 拓 氏(京都大学環境安全保全保健機構健康管理部門 部門長・教授)

先 着：500名(直接会場にお越しください)

入院中の紙おむつ使用に関するご案内

当院では、入院中に紙おむつをご使用される患者さんに対して、紙おむつ供給システム「紙おむつプラン」(有料)のご利用をお願いしております。
ご利用いただくと紙おむつの持ち込みが不要となります。

このシステムは、

- ① 入院患者さんのご家族によるおむつ購入、持ち込みの手間の軽減
- ② 患者さん個々の排泄状況の合わせた適切な看護ケアの推進
- ③ 院内医療廃棄物処理負担の効率化

等を図るもので、患者さんと当院相互の利便性に配慮し、適切な取り組みであることをご理解願います。

紙おむつプラン概要

入院中に紙おむつをご使用される患者さんを対象のセットプランです。

1日あたり標準的に必要な紙おむつを1セットにしたものが供給されます。

紙おむつの供給、利用料金の収受は、当院が委託した外部業者が実施いたします。

お申し込みは、院内売店(1階玄関付近)で受け付けております。

【1セットあたりの料金(税別)と内容】

セット名	販売価格	内容
A①	¥470	オンリーワン幅広テープM×2 オンリーワンパッド レギュラー×2 尿とりパッド サーフ×4
A②	¥510	オンリーワン幅広テープL-LL×2 オンリーワンパッド レギュラー×2 尿とりパッド サーフ×4
B①	¥260	幅広テープM×2
B②	¥300	幅広テープL-LL×2
C①	¥260	オンリーワンパンツ前後フリーM×2
C②	¥280	オンリーワンパンツ前後フリーL-LL×2
D①	¥220	立っても座っても簡単装着ベルトタイプM×2
D②	¥240	立っても座っても簡単装着ベルトタイプL×2
E	¥105	スリムフラット×3
F	¥150	尿とりパッド サーフ×5
G	¥170	オンリーワンパッド ワイド×2

※使用するセットは、患者さんの状況に合わせて看護師が選定させていただきます。

※1日単位からのご利用が可能で、セットを使用しなかった期間の料金は発生しません。

※その他、詳細につきましては、お手続きの際、院内売店(1階玄関付近)にてご案内いたします。

マンモグラフィー装置が新しくなりました。 患者さんに優しく、被曝量も低減！

新棟へ引っ越しに伴い、マンモグラフィー装置を最新のものに更新しました。

① 検査時間の短縮

最新デジタル装置のため、画像処理が早くなり、検査時間が大幅に短縮されました。

② 低被曝

マンモグラフィー装置は、もともと厳しい装置基準がありますが、最新の装置になり、従来の装置よりもさらに被曝線量が低減されました。

(従来の 60% の X 線量で写真が撮れます)

③ 患者さんに優しい

乳房の圧迫する板が柔らかい素材でできています。

乳房への最適な圧迫を感知する機能を有しているため、痛みを最小限に抑えつつ高画質で病変を描出できるようになりました。



玄関ボランティア募集

戸惑うことなく病院を利用していただけるように、病院内の職員と協力しながら主に正面玄関で活動するボランティアを募集しています。約 35 名の仲間と一緒に活動してみませんか？ボランティアがはじめての方でも大丈夫です。

- ・主な活動内容 車いす利用者への介助、乗車・下車時の介助、受付への案内、見守り等
- ・活動時間 月曜日から金曜日までの診療日 原則 午前 8:00～午前 11:00 月 2 回程度

黄色いエプロンが目印です。特別な資格は必要ありません。
ご関心がある方は、お気軽に地域連携室までお問い合わせください。
随時募集しています。



編集後記

紅葉狩りの季節ですね。ところでなぜ「狩り」と言うのか気になったことはありませんか？どうやら「狩り」という言葉には、草花を眺めるという意味もあるそうです。

体調を崩さぬよう暖かい服装で出かけましょう！

担当F



発行：館林厚生病院
(広報・年報委員会)

〒374-8533

群馬県館林市成島町262番地の1

TEL 0276-72-3140(代)

FAX 0276-72-5445

